

アービタックス®+ビラフトビ®



◆ 点滴に使用する薬と点滴時間

- 初回 : 2時間15分
- 2回目以降 : 1時間15分

使用する薬	外観	点滴時間
過敏症予防 デカドロン®、ポララミン®		15分
アービタックス® 初回 : 400 mg/m ² 2回目以降 : 250 mg/m ²		初回 : 2時間 2回目以降 : 1時間

- 薬の量は、副作用の程度などにより変更されることがあります。
- 点滴時間はあくまで目安であり、時間が前後することがあります。
- 過敏症予防のポララミン®による眠気が出ることもあるため、ふらつき、転倒に注意し、投与当日の車の運転は行わないでください。

◆ 内服薬

お薬の名前	飲み方、スケジュール
ビラフトビ®カプセル 75mg 	1回 _____ mg _____ カプセル 1日1回 _____ 連日内服
50mg 	

◆ スケジュール

- 7日間を1コースとして治療を繰り返します。

アービタックス®：1日目に点滴

ビラフトビ® 連日内服

1コース：7日間

◆ ビラフトビ®を飲むときの注意

- この薬は、患者さんの疾患、体の大きさによって投与量が決められています。処方された**用法用量、スケジュールを必ず守ってください**。

◆ ビラフトビ®を飲み忘れたとき

- 飲み忘れに気付いた時間が、次回の投与時間まで12時間以上あく場合は、すみやかに内服してください。
- ただし、次の内服時間が12時間未満の場合はその日は内服せず、翌日から通常通り内服し、決して2回分を飲まないでください。

◆ ビラフトビ®を過剰に飲んでしまったとき、間違えたとき

- 多く飲んでしまった、スケジュールを間違えた場合などは、すぐに病院へご連絡ください。

◆ ビラフトビ®の飲み合わせについて

- ビラフトビ®は、**併用に注意が必要な薬や飲食物があります**。薬局やドラッグストアで購入した薬も含め、担当の医師や薬剤師に飲み合わせを確認してもらいましょう。

◆ 治療日誌について

- 副作用の症状を把握したり飲み忘れがないように、治療日誌をつけましょう。

◆ 主な副作用

皮膚障害

アービタックス®により、にきびのような発疹、かゆみ、乾燥、爪の周りの炎症などの皮膚障害が現れることがあります。

副作用の詳細や、対策方法、生活上の注意点については、別冊のパンフレットをご参照ください。

視覚障害

視力が落ちる、まぶしく感じる、虫が飛んでいるように見えるなど感じる場合は、すぐに病院へ連絡してください。

◆ 点滴中

下記の赤字の症状があるときは、すぐに医療スタッフへお声かけください。

過敏反応（アレルギー）

寒気、吐き気、頭痛、めまい、発疹、息苦しい

治療開始1～2回目ができやすいですが、治療を繰り返していても現れることがあります。

血管外漏出

点滴が漏れている、針を刺したところが痛い、熱っぽい、赤く腫れている、違和感がある

吐き気・嘔吐・食欲不振

必要に合わせて、吐き気止めでしっかりと予防を行っています。

それでも症状がある場合は、吐き気止めを追加で使用することがあります。水分が摂れないほど吐き気・嘔吐がひどい場合は、ご連絡ください。

便秘

お腹の動きが悪くなり、便が固くなったりお腹がはることがあります。食事や水分摂取、適度な運動でも改善しない場合、下剤を使用します。

関節痛・筋肉痛

肩や背中、腰、手足の関節などが痛くなることがあります。

温めたりマッサージをすると改善することがあります。痛み止めを使用することがあります。

発疹

皮膚が赤くなる、かゆみが出ることがあります。

刺激の少ない肌着を着用しましょう。塗り薬やかゆみ止めの内服薬を使用することがあります。

治療開始後数日以内に全身に発疹やかゆみが出る、目の粘膜や唇がただれる、発熱を伴う場合などはすぐに病院へ連絡してください。

倦怠感（だるさ）

疲れやすい、気力がない、体が重いなどの症状で、日常生活に支障が出る場合は、診察時に主治医へご相談ください。

下痢

普段より1日4回以上多く排便がある、または1回でも水のような便があるときは、**下痢止めを使用**することがあります。

強い腹痛や発熱を伴う場合、医師から処方された下痢止めで改善しない場合は、ご連絡ください。

口内炎

口の中がヒリヒリする、しみる、痛くなることがあります。

歯みがきやうがいで口の中を清潔に保ち、乾燥を防ぐことが大切です。

またうがい薬や塗り薬を使用することがあります。

がまんできない、水分もとれないほどの口の中の痛みがある場合は、病院へご連絡ください。

手足症候群

手のひらや足の裏に、赤く腫れる、ひび割れ、水ぶくれなどの症状がでます。

痛みを伴い、ひどくなると生活に支障が出ます。症状の強さ、薬の種類によっては、**フローズングローブを使用**することがあります。

保湿剤（市販のハンドクリーム使用可）を塗り、予防しましょう。

手足へ過度な負担をかけないようにしてください。

◆ 検査でわかる副作用

高血圧

血圧が高くなることがあるため、自宅で定期的に血圧を測定し記録し、診察時に医師に記録を見せましょう。

血圧を下げる薬を使用することがあります。

自宅での血圧が180/120mmHgを超える、頭痛や胸の痛みなどの他の症状を伴うときは、病院へご連絡ください。

低マグネシウム血症

血中の電解質マグネシウムが低下することがあります。マグネシウムが低下すると、食欲が低下する、脱力感、しびれやふるえなどの症状が出るがあります。

定期的な血液検査を行い、低い場合は点滴でマグネシウムを補充することがあります。

【血液検査・尿検査について】

副作用の確認のために、定期的な検査を行います。

◆ その他の副作用

非常にまれな副作用ですが、万が一赤字の症状がある場合は、すぐに病院へご連絡ください。

間質性肺炎

たんが絡まない乾いた咳、息苦しい、発熱

心障害

定期的な心機能検査を行います。

足がむくむ、顔やまぶたが腫れぼったくなる、3日で2kg以上の体重増加がある、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる

肝機能障害

定期的な血液検査を行います。

白目や皮膚が黄色くなる（黄疸）、ひどいだるさ

出血

青あざができる、鼻血、歯茎から出血しやすいなどの症状が出る場合があります。

血痰がある、下血がある場合は病院へ連絡してください。

皮膚悪性腫瘍

いぼができる、皮膚のただれやじゅくじゅくができる

◆ 緊急時の連絡方法

困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。

気持ち悪くて水分も摂れない
下痢が止まらない
37.5℃以上の発熱が続いている
薬の使用方法がわからない

など



診察券を用意する

代表：044-977-8111 に電話をかける

平日：8:30-17:00
土曜日：8:30-12:30

腫瘍センター
ナースステーション

夜間帯・休診日
など左記以外の時間

各診療科の当直医

◆ 予約外受診の方法

病院本館正面玄関に入って右手の
「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした後、
各診療科の外来でお待ちください。

※受付時間：平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00

- 生活上の注意については、別冊のパンフレットもご参照ください。
- ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

薬剤師